※令和４年度以降入学生用

学校番号	１０１４

令和８年度　数学科

教科	数学	科目	数学Ａ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	数研出版編集部「最新　数学Ａ」　（数研出版）						
副教材等	「パラレルノート数学Ａ」（数研出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・授業では、課題に対して、自ら考え、周りの人と協働で考える活動を行います。
・「課題を理解する→結果を予想する→解決の方向を構想する→解決する→解決の過程を振り返ってよりよい解決を考える」といった一連の過程で、自分の考えを発表したり、議論したりする数学的活動を行います。
・定期的に課題の提出をしてもらいます。答え合わせは自分がどこでつまずいているかを確認するために重要ですので、必ず答え合わせをして提出すること。

2　学習の到達目標

数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することをめざす。
(1)　図形の性質、場合の数と確率についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学と人間の関係について認識を深め、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。
(2)　図形の関係要素間の関係などに着目し、図形の性質を見いだし、論理的に考察する力、不確実な事象に着目し、確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断する力、数学と人間の活動に着目し、事象に数学の構造を見いだし、数理的に考察する力を養う。
(3)　数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	図形の性質、場合の数と確率についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学と人間の関係について認識を深め、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けている。	図形の関係要素間の関係などに着目し、図形の性質を見いだし、論理的に考察する力、不確実な事象に着目し、確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断する力、数学と人間の活動に着目し、事象に数学の構造を見いだし、適切な手法を選択して分析を行い、問題を解決したり解決の過程や結果を批判的に考察し判断することができる。	図形の性質、場合の数と確率についての学習を通して数学のよさを認識し、数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	第1章　場合の数と確率	第1節　場合の数	a:集合、場合の数、順列、組合せについて理解するとともに、基本的な計算ができる。 b:学習した計算方法と関連付けて、複雑な問題を多面的に考察することができる。 C:日常の事象や社会の事象などを数学的に捉えて、問題解決に活用する。	提出ノート 確認テスト 定期考査	提出ノート 確認テスト 定期考査	提出ノート 振り返りシート
		第２節　確率	a:確率を理解するとともに、簡単な確率の計算ができる。 b:学習した確率を複雑な問題と関連付けて考察することができる。 C:日常の事象や社会の事象などを数学的に捉えて、確率を利用して問題解決に活用する。	提出ノート 確認テスト 定期考査	提出ノート 確認テスト 定期考査	提出ノート 振り返りシート ト
	第2章　図形の性質	第1節　三角形の性質	a:角と線分の関係や三角形の三心とチェバメネラウスの定理について理解しており、角の大きさや線分の長さを求めることができる。 b:　学習した内容について、複雑な問題を多面的に考察することができる。 C:日常の事象や社会の事象などを数学的に捉えて、学習した内容を利用して問題解決に活用する。	提出ノート 確認テスト 定期考査	提出ノート 確認テスト 定期考査	提出ノート 振り返りシート

※令和４年度以降入学生用

後期	第2章 図形と計量	第2節　円の性質	a:円周角の定理や接弦定理や方べきの定理について理解しており、角の大きさや線分の長さを求めることができる。 b: 学習した内容について、複雑な問題を多面的に考察することができる。 C:日常の事象や社会の事象などを数学的に捉えて、学習した内容を利用して問題解決に活用する。	提出ノート 確認テスト 定期考査	提出ノート 確認テスト 定期考査	提出ノート 振り返りシート
		第3節　作図	a:コンパスと定規をもちいて基本的な図形の作図ができる。	提出ノート 確認テスト 定期考査		
		第4節　空間図形	a:空間における直線と平面の関係と多面体の面頂点辺の関係について理解しており、平行垂直や多面体の面頂点辺の数を求めることができる。	提出ノート 確認テスト 定期考査		
	第3章 数学と人間の活動	1 約数と倍数 2 1次不定方程式 3 記数法 4 座標の考え方 5 ゲーム･パズルの中の数学	a:約数倍数や座標の考え方などを理解し、最大公約数･最小公倍数や二点間の距離を求めることができる。 b:数学と人間活動の関係を理解し学習した内容について、複雑な問題を多面的に考察することができる。 C:ゲームやパズルなどを数学的に捉えて、学習した内容を利用して問題解決に活用する。	提出ノート 確認テスト 定期考査	提出ノート 確認テスト 定期考査	提出ノート 振り返りシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度